

「車いす空の旅事業」協賛金300万円を寄付

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献活動の一環として、公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団が行っている「車いす空の旅事業」に協賛して300万円を寄付しました。これに対して、同事業団理事長から感謝状をいただきました。「車いす空の旅」は、同事業団が主催して毎年行っている事業で、日頃から車いすで、生活している障がい児者とその家族を4月には沖縄へ、9月には北海道への飛行機での空の旅に招待しているものです。

1. 日時	令和2年7月21日（火）
2. 場所	神奈川県遊技場協同組合会館
3. 贈呈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
4. 受贈者	公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団 篠原慎一郎新理事長

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会は、協会が設立した昭和60年から35年間にわたって、様々な社会貢献活動に取り組んでいるところですが、この公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団が主催する「車いす空の旅事業」には、平成元年から今日まで継続して支援を続けています。

本年4月の沖縄と北海道空の旅は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりました。

寄贈に当たって、伊坂重憲会長は、「業界を取り巻く状況は厳しいが今後もできる限り支援を続けていきたい」とあいさつをしました。

篠原慎一郎新理事長からは、「長年にわたり寄付を頂けることは本当に有難いことです。感謝しております。」との謝辞とともに感謝状をいただきました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞、タウンニュースで紹介されました。



伊坂会長と篠原理事長



篠原理事長を交え神奈川福祉事業協会役員